

A:よくできている B:概ねできている C:あまりできていない D:できていない

項目	評価内容	重視したい評価内容	園の取り組み	評価				改善策・来年度に向けて	
				A	B	C	D		
向かうべき保育の方向	法人理念『子ども一人ひとりに寄り添い大切に育てる』	子どものバックグラウンドや発達を知り、想いを受け止めながら一歩先の手立てを考える寄り添い方ができている	・子どもの持っている可能性を大切にしたり、子どもを見る視点を養う為にドキュメンテーション、日誌、クラスだよりを活用している。 ・職員が必要な専門的知識を持つために子どもの発達理解や歳児に合った環境作り・安全に保育をしていくための園内研修、外部研修を取り入れ学び合いを行っている ・異年齢との関わりで生まれる憧れや愛おしく思う中で関わり方や遊び方を伝えている。 ・安定し豊かな心が育つようわらべうた・絵本を保育に取り入れている ・月齢に合わせて身体を使う遊びを取り入れたり集中して遊ぶ環境設定を設けた。		○			・職員全員が法人理念や園の向かうべき方向を同じにする為に保育の違いを語り合う場を意識して確保していきたい。 ・法人内、園内の研修に意欲的に参加し日々の保育につなげ職員自身の強みとなるようにし、またそこでとどまらず更に学び合えるようにするのが目標。 ・絵本とわらべうたを用いた遊びの計画から実施までを研修で学び合っていきたい。 ・子ども理解と育てて欲しいねらいを明確にし意見交換の場をMTや別途話し合いを行い向かうべき保育を合わせていく。	
	園の基本方針 『子ども一人一人の発達や成長、その子を取り巻く環境をよく理解し、その子の少しを見据えた「今」を大切に暖かく丁寧な保育』 『安心して子どもを預ける環境を作り、親が自ら自分の子育てを語り相談しやすくなるような信頼関係を目指す』	園の目指す子ども像 『よく遊ぶ子ども..自ら遊びを創り楽しむことができる』 『健康でたくましい子ども..心と体のバランスがとれる』 『友達との関わり、豊かな心をもつ子ども..たのしさ・がまん・やさしさ・うれしさ..くやしきなど』				○			
	園の求める保育の視点 『子ども一人一人の発達を理解し、丁寧な関りをする』 『日々の保育の振り返りを主体的な関わりが出来るように工夫する』 『今子どもが何に興味を持ち、どうつなげていくかを考えながら見守る』						○		
	子どもの人権	子どもの人権を意識した保育がされている		個を大切にしたい関わりができるよう語り合いやチェックリストを用いた研修を行っている		○			
	0歳から積み重なっていく発達を学年をまたいで考えられる	0歳から就学前までの発達が理解できており、個や異年齢の関わりを大切にしたい保育や保育の連続性を考慮した保育が行われている		発達段階の理解をし、その上で語り合い、ねらいを持った関わりをしている。		○			
保育について	つながる保育	日々保育の振り返りが行われ、今後の保育へつなげるよう計画されている	歳児に合ったねらいをもち、その日の姿が次の成長になるよう振り返りを日々行っている。			○		・子どもの人権を守るため事例検討で語り合いや学び合いをクラスだけでなく園全体で行っていく。 ・歳児ごとの年間計画や月案週案を意識しながらも現状の子どもの姿に着目した環境設定をスピーディーに行いたい ・一人一人の子どもの発達理解・成長を見据えたねらいを持った保育実践・振り返り、どうだったかの評価を繰り返す事を定着する。 ・室内環境については定期的な見直しをしているが、子どもの興味関心にアンテナをはり集中する机上遊びを整え直したい。	
	生活リズムの確立およびリズムの多様性への配慮	安定した穏やかな気持ちで園生活が送れるように子どもの目線になり落ち着ける時間や空間(環境)が保障されている 育ちや発達に考慮した関わりを行っている	朝の連絡ノートや、受け入れ時に気になる事の聞き取りを丁寧に行い体調や機嫌に配慮し安定した一日がおくれるように意識した。どのような関わりや環境が安定して過ごせるのか保育士間の語り合いを実施。		○				
	環境を大切に考える保育	自らあそび、チャレンジし、発想を広げられるような環境が整えられている	子どもの成長に合わせた遊び環境、保育の見直しを行い変化させたい。		○				
	マニュアル理解	安全計画や災害・事故防止マニュアルは実効性があるものが策定されており、職員が内容を理解し定着対応できるような取り組みができている	毎月災害訓練計画を基に担当を決め、担当者が訓練計画を練り、職員が危機管理意識を持ち実践につながるように訓練している。		○				
安全管理	事故防止	日々のヒヤリハットを集め共有し、園の子どもの特性を知っている 気を付けることや改善することを共有実践し大きな事故につかげない	日々の小さなヒヤリハットを毎日あげ、その中で繰り返される内容については改善策の話し合いを行い事故防止を意識してきた			○		想定外の災害や危機感を持って訓練ができるよう近年起こりうるであろう災害を想定した計画を立てたり、抜き打ち訓練で職員の意識付けを行いたい。総合防災訓練を通じ、家庭にも危機管理の重要性に関心を持ってもらえる配信をしていく。保育中のヒヤリハットにマンネリが出ないよう改善策の実践やその後どうだったかの評価までを行い事故防止に取り組みたい。	
	防災	様々な災害を想定した訓練を行い、全職員が状況に応じた的確な行動がとれる 保護者にも災害に対する知識を伝えている	毎月災害訓練をパート職員も含めて主になり実施している。 連絡ツールの確認を保護者とも行った災害への意識に緊張感を示している		○				
	環境	クラス・廊下・共有場所・避難経路の整理整頓ができおり安全が確保できている 玩具・玩具等点検を行い修繕されている	備蓄の期限確認、保管場所の見直しを定期的実施 避難経路の確認を意識した避難訓練を行っている 玩具の消毒と玩具点検を日々実施している		○				
保健・食育	マニュアル理解	感染症マニュアルは実効性のあるものが策定されており、職員が内容を理解し、感染症や疾病についての知識を持ち対応できている	季節の感染症について読み合わせや処理の物品確認を行う。		○			感染症についての対応が職員で差が出ないよう知識と情報収集を共有し対応していき家庭との温度差を無くしていきたい。健康で丈夫な体づくりや歳児に合った活動の充実で運動機能の発達につなげたい。 2歳児中心に行う食育活動も野菜の栽培、収穫を身近に感じ園全体の意欲を高めていきたい	
	健康	健康に過ごすために年齢にあった習慣が身についている 自ら体を動かすことで心と体の健康を保つ取り組みを行っている	排泄したらかえる、戸外から帰ったら手を洗うのが習慣が身につくような連絡ノートを活用して生活習慣の大切さを家庭に伝えていく 歳児ごとに考慮して子どもの「やってみたい」遊びを無理のない範囲で保育に取り入れた。		○				

戸	食育	食に興味を持てるよう給食職員と連携しながら取り組みをしている	2歳児を中心にパンのお買い物をしたり収穫した野菜を調理室まで届けその食材を食べる喜びにつなげている	○				食を同じくしている。
		発達に応じた食事のマナーを伝えている	食具を使いやすい物に変更し意欲につなげた。		○			
組織運営	組織体制	コミュニケーションやチームワークを大切にしたい	月に2回のMTとは別に正規職員だけのMTも行い振り返りや次の行事についての周知を行った。職員がそれぞれリーダーや係りとなり目的をもちMT内での研修を行っている。園内研修や事例検討ではグループに分かれどの職員も意見、発言することが出来るような雰囲気心掛けている		○			与えられた係、リーダーの仕事は自発的に行えた部分と例年通りと工夫が足りていなかった部分があるので引継ぎや学んだことを発信していけるようにしたい。短時間パートと担任がクラスの様子と子どもの姿を共有し保育士間のずれが生じないようにしていきたい。
		園長を中心に役割分担と責任が明確にされ迅速な対応ができる体制があり、担当の役割を全うできている				○		
		打ち合わせや会議・MT等が適時行われ、情報共有がしっかりできている			○			
研修	研修の充実と質の向上	園内研修担当者が中心となり園の課題や園が目指す保育の充実について学びの場や語り合いの場が	企業内研修での学びを自園とクラスの保育にアレンジして取り入れる事ができた。また次の意欲につなげている。		○			企業内研修の主導から組み立てを計画する事で学び合いの大切さ、質の向上に努める。MTでの園内研修では課題解決に向けた内容にして保育に向かう姿勢や意欲につなげていきたい。
		園外研修へ参加し自身の保育の質の向上に努め園内の保育に活かされている			○			
家庭保護と者との支援と連携	保護者支援 家庭との連携	保護者が子どもの想い・成長・発達を受け入れ育てることができるよう配慮している また保護者が子どもの最善を考え行動できるよう支援している	日々の子どもの様子を連絡ノートや口頭で連携を取り合えた。 様々な家庭がいる中で困りごとや気になる事を共有し保育士としてアドバイスができるよう寄り添うよう心がけた。 参加会やモコの会を通して保育園での様子や園の取り組みへの理解を動画や保護者と活動参加で深めるよう心掛けた。		○			保護者との連携を引き続き大切に子ども達の心身の状態や発達を把握し、家庭に合わせ柔軟な対応をしていく。 季節の行事や活動のドキュメンテーション配信をする事で保育園への関心をさらに深めてもらい、子どもの成長と一緒に喜びあっている関係性をさらに強めていきたい。
		保護者との信頼関係が築けており、保育園での子どもの様子を伝え喜びやつまづきを共有し共に育てている 園と保護者で子どもの様子や成長を共に楽しみ喜び合っているような取り組みをしている			○			
と校近 の（隣 連園の 携）学	（保育園）就学に向けた学校とのつながり （小規模）年少進級に向けた連携園とのつながり	（保育園）公開保育開催や公開授業へ参加、地域の情報交換の場へ参加し小学校との連携を図り就学がスムーズに行われるよう努めている （小規模）連携園との交流を行いスムーズに進級できるよう努めている	連携園に定期的に遊びに行き情報を共有する事ができた。 進級がスムーズになるよう、生活面を見直していけたらと感じている。		○			より大きな集団になるので進級に向け憧れを持てるよう連携園との交流を増やしていきたい。またスムーズな進級になるよう情報共有もしていきたい。
域近 連と隣 携の地	地域に親しまれる園作り	豊かな経験がはぐくまれるように、地域の様々な人と場に関わる機会を大切にしている	交流館で作品展示を行い地域と園が繋がる機会ができた。 施設ふれあい会で、わらべうた・リズム遊びの披露をして近隣施設との交流ができた。		○			交流館の作品展示・施設訪問は引き続き行っていく。 JAの方や消防署、交番などにも積極的に関わっていきたい。